

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成17年3月17日(2005.3.17)

【公開番号】特開2004-6689(P2004-6689A)

【公開日】平成16年1月8日(2004.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2004-001

【出願番号】特願2003-60533(P2003-60533)

【国際特許分類第7版】

H 0 1 L 21/60

A 6 1 B 5/117

H 0 1 L 23/28

【F I】

H 0 1 L 21/60 3 0 1 D

H 0 1 L 23/28 J

A 6 1 B 5/10 3 2 2

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月14日(2004.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】図面

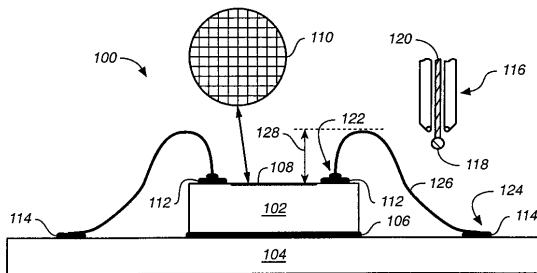
【補正対象項目名】全図

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1】

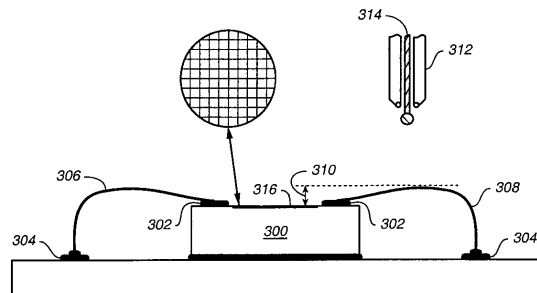
指紋センサダイへの典型的な電気接続を示す図



従来技術

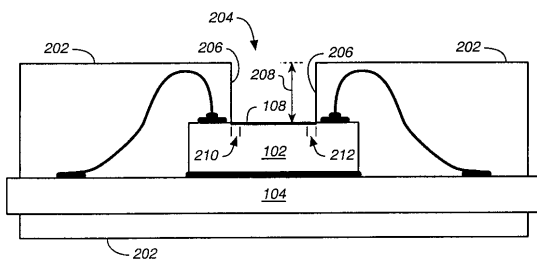
【図3】

本発明によりワイヤ接続された指紋センサダイの実施例を示す図



【図2】

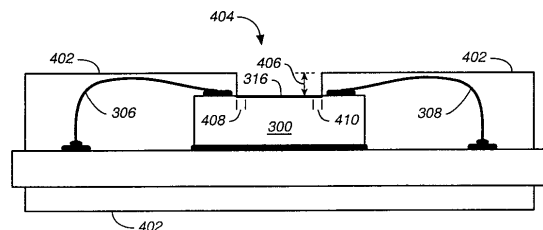
指紋センサダイに関して典型的な封止された利用形態を示す図



従来技術

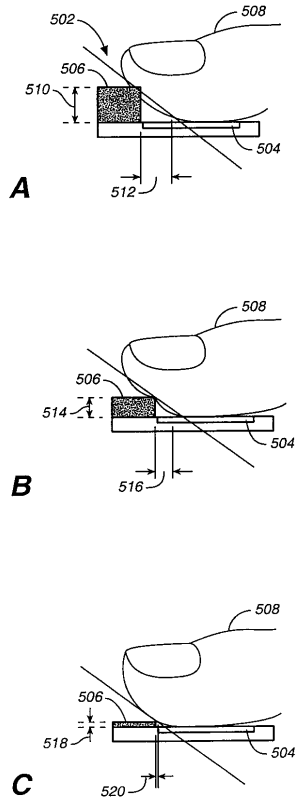
【図4】

図3の指紋センサの封止結果を示す図



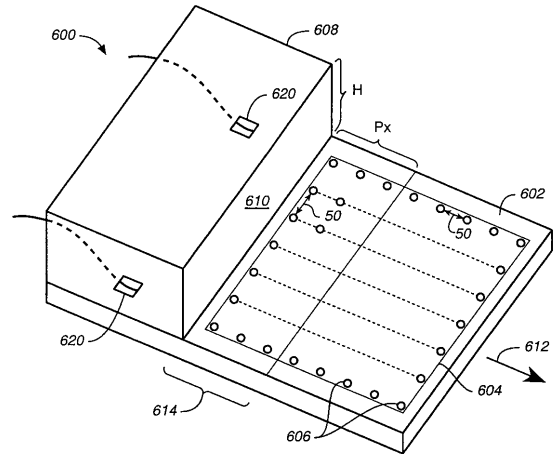
【図 5】

封止部がどのようにしてセンサ領域の損失に影響するかを示す図



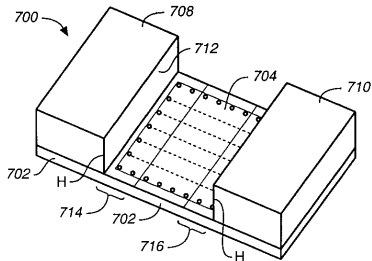
【図 6】

封止ベDESTALの高さに起因するセンサ領域損失を示す掃引指紋センサを示す図



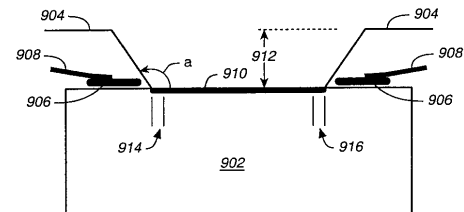
【図 7】

封止ベDESTALの高さに起因するセンサ領域損失を示す静的な指紋センサを示す図



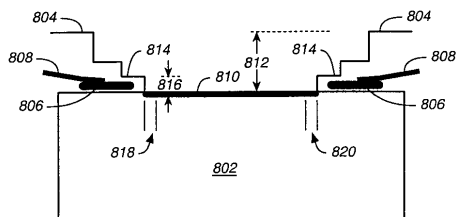
【図 9】

本発明により構成された傾斜した封止部を示す図



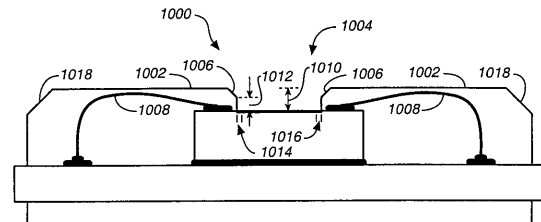
【図 8】

本発明により構成された階段状の封止部を示す図



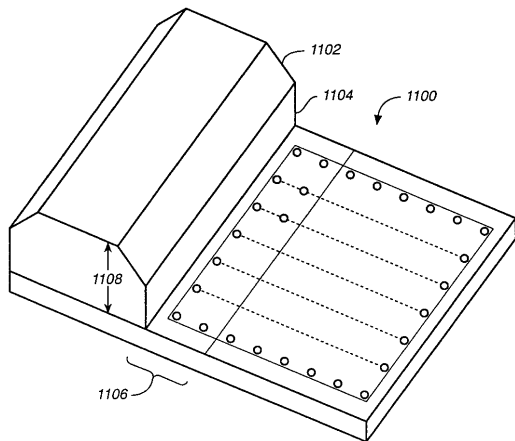
【図 10】

本発明により構成された面取りされた封止部を有する指紋センサを示す図



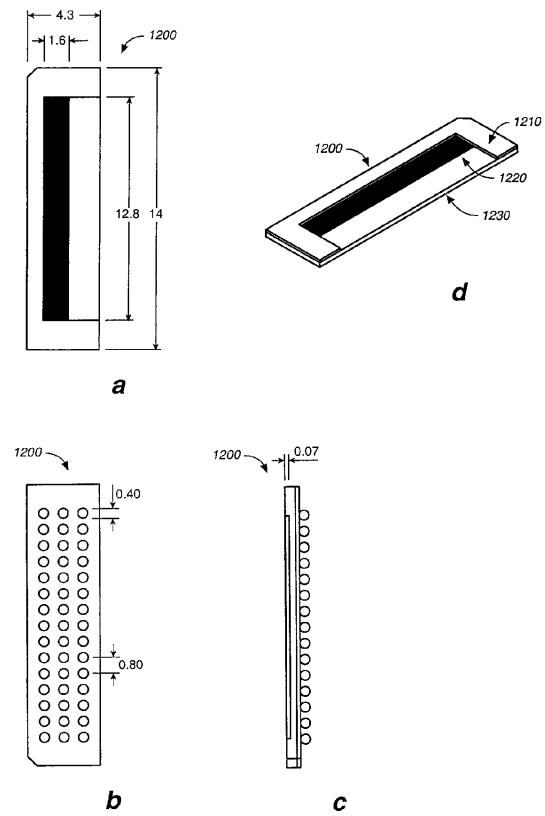
【図 1 1】

本発明により構成された面取りされた封止部を有する掃引式指紋センサを示す図



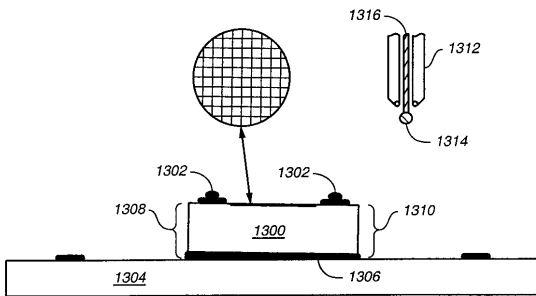
【図 1 2】

本発明により構成された指紋センサ例の平面図、底面図、側面図及び斜視図を示す図



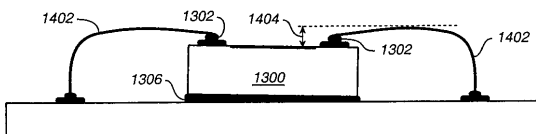
【図 1 3】

ダイの不整合を補償するためにダイコンタクトに設けられたボール補償部を有する指紋センサダイの一例を示す図



【図 1 4】

本発明により取り付けられたボンディングワイヤを有する図13の指紋センサダイを示す図



【図 1 5】

本発明により構成された指紋センサを有するPDA及び携帯電話機を示す図

